

国営事業だより

水を繋ぎ、地域を興す

第40号

平成31年
4月20日



市野新田ダム付替道路脇に咲くタチツボスミ

完了年度にあたって



所長 長和義
泉本

皆様におかれましては、日頃より国営柏崎周辺農業水利事業の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。2月5日から試験湛水を開始した市野新田ダムも順調に水が貯まり、3月26日には満水に至りました。今後さらにダムの安全性を確認する作業を進め、今秋には竣工が見込める状況になりました。これにより、平成9年度に着工した当事業も、いよいよ令和元年度末(来年3月末)をもって事業完了を迎えることとなります。

完了まで一年足らずとなりましたが、市野新田ダムや周辺整備、水管理施設の整備など、よりよい形で施設の引き渡しができるよう、丁寧に作業を進めてまいりました。ダム周辺や集落周辺の道路舗装など、生活道路をお借りしての工事となり、地域の皆様には最後までご迷惑をおかけすることになりますが、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

さて、試験湛水中の市野新田ダムですが、ダムの安全性を確認するため、5月連休明けまでの間は満水を保持する予定です。これから新緑の季節を迎え、ダムの造形美とダム湖面に映る鶴川上流域が美しい景色を呈するものと思います。市道からもご覧いただけますが、ダム周辺の整備工事を進めている関係上、ダムの見学を希望される場合は昼間はダム管理棟に職員が駐在しておりますので、お声がけをお願いします。

市野新田ダムが供用を開始する来年度からは、濁水に悩まされてきた鶴川水系の皆様へ安定した用水を供給することができるようになります。この一年、柏崎・刈羽地域の豊穡を目的として進めてきた本事業の意義、先人の苦勞、皆様のご理解・ご協力に思いを馳せながら、職員一同事業の仕上げに邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

市野新田ダム

試験湛水について

本年2月5日より、取水設備ゲート及び低水ゲートを全て閉塞し、徐々に水位を上昇させてきました。3月26日15時頃、無事常時満水を迎え、満水位保持期間に入りました。1ヶ月以上水位を保持した後、徐々に水位を降下させていき、6月上旬頃には、試験湛水を完了する予定です。



市野新田ダム
満水時(下流より望む)



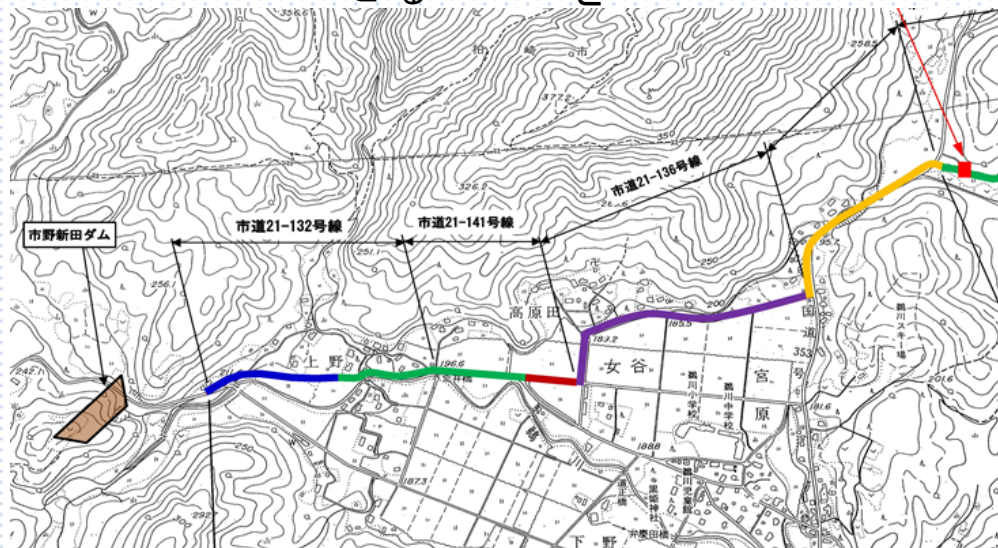
市野新田ダム
満水時(上流より望む)

幹線導水路の通水試験を実施します

4月22日～26日、5月13日～17日の2週間にわたり、市野新田ダムから女谷集落内、国道353号線を通り下流に向かう幹線導水路の通水試験を行います。通水試験は、パイプラインに試験的に送水、充水することで水密性と安全性を確認するためのものです。

その実施過程において、途中途中にあるマンホール(空気弁や仕切弁等)を開閉・操作して実施する必要があります。そのため、道路の片側を占有して行うこととなります。通行される方々にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしく申し上げます。

また、試験期間中、職員及び施工業者が体制を組んで巡視にあたりますが、何かございましたらお声がけください。



高収益作物(タマネギ)の導入について

平成29年度より、柏崎・刈羽地域での高収益作物導入を促進し儲かる農業経営とするため、園芸重点品目で機械化営農が比較的容易なタマネギの実証試験を行っています。平成30年度は、排水対策に着目し、関係機関と連携して弾丸暗渠の実施ほ場と未実施ほ場とで生育調査を行っています。平成30年10月に定植した苗の越冬率は、100%となっております。地域でのタマネギ栽培は、年々増加しており、平成30年では9.5haとなっております。6月には、実証試験関係者一同が収穫作業を手伝うこととしています。

今後の玉太りと調査成果に乞うご期待！

市野新田ダム湖の名称について

市野新田ダムのダム湖の名称は、ダム湖が位置する地名にちなんで、「菅沼湖」と命名されました。ダム右岸天端に湖の名前を刻んだ石を設置する予定です。是非ご覧ください。



排水対策実施ほ場



未実施ほ場

(排水対策が効いている)

<発行元>
北陸農政局柏崎周辺
農業水利事業所
柏崎市南半田18-15
TEL:0257-24-5731
ホームページは

柏崎 国営

